

アオホオズキ

Physaliastrum japonicum (Franch. et Sav.) Honda
ナス科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

確認されている県内での生育地は2地区のみで、個体数も極めて少ない。環境の改変で絶滅が危惧され、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

山地の谷沿いのやや湿り気のある林中に生える多年草。茎はやわらかく、まばらに分枝して高さ30～60cm。葉は長楕円形で先は次第に細くとがる。葉身は長さ5～12cm、幅1.5～4cm。6～7月、葉腋に下向きの花を付ける。液果は楕円形で、淡緑色。

分 布

本州、四国に分布する。県内では南越前町、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○								○	

ヤチダモ

Fraxinus mandshurica Rupr.
モクセイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県での生育地の確認は1地区に限られ、情報、個体数ともに少ない。今回、要注目から県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

山地の湿地に生える落葉高木。葉は奇数羽状複葉で7～11小葉があり、小葉は頂小葉を除いて無柄、狭長楕円形で長さ6～15cm、幅2～5cm。細鋸歯があり表面は無毛。雌雄異株。花は4～5月に開き、花冠がない。翼果は広倒披針形、長さ2.5～3.5cm、幅7～8mm。

分 布

北海道～本州に分布する。県内では大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

湿地開発、産地局限、自然遷移。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

シマモクセイ

Osmanthus insularis Koidz.
モクセイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県では稀産種で生育地が島に限定されている。自然遷移の影響が懸念され、今回新たに県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

山地に生える常緑の高木。樹皮は灰色を帯びる。葉は対生、狭長楕円形、長さ9～12cm、幅2～5mm、革質でやや薄く、先は細長く尖り、全縁、若木では鋭い鋸歯が出る。花期は10月。雌雄異株。果実は翌年の6月頃、紫黒色に熟し、楕円形、長さ1.5～8cm。

分 布

本州（福井県以西）～九州に分布する。県内では高浜町、小浜市で確認されている。

生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1999）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○		○												